

平成26年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業の状況	7
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	7
公2 生活創造活動への支援	14
公3 芸術文化の振興	17
公共 丹波地域情報の発信等	19
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	20
他1 芸術文化団体等活動支援事業	20
III 法人会計	20
施設の利用状況	21
(1) 丹波の森公苑	21
(2) 丹波年輪の里	22
(3) ささやまの森公園	22
事業の受託状況	23

平成26年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化、平成24年に公益財団法人へ移行）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところであり、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開していく。

平成26年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1)魅力ある地域づくりの推進
- (2)生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3)生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、森林や環境を考える心を育てる木育を推進していく。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

・「県立丹波並木道中央公園」では、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進する。

・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

平成 26 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 美しい村づくり活動支援事業
- エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）
- オ 丹波の森研究所の充実
- カ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
 - ・ たんば田舎暮らしワンストップ相談
 - ・ 丹波氷上回廊ホームページの運営
 - ・ 丹波地域の草木と生き物ガイド作成
- キ 花づくり活動支援事業
- ク 丹波の森フェスティバルの開催
- ケ 丹波年輪の里事業
- コ 丹波並木道中央公園の企画運営

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進

- ア 里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業
- イ 里山創造活動支援事業
- ウ 森づくりアドバイザーの設置
- エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり
- オ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

- ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

- ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

イ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

ア 放送大学センター外視聴教室の運営

イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座（丹波OB大学）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学院）の開設

エ 講座「丹波学」の開設

オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業

カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) 暮らしの安全安心の推進

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

(4) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入

【全施設】

イ 丹波の森美術学校の開設

ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催

オ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(5) 公2 共通経費

ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催

イ 丹波の森演劇祭の開催

ウ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催

エ ステージスタッフ活動支援事業

オ 展示ギャラリーの開設

カ 伝統文化活性化支援事業

キ 座っ展 2014—丹波でうまれた木の椅子—

【県立丹波年輪の里】

ク ひょうご社会教育活性化支援事業

(3) 公3 共通経費

ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

ア 情報誌「丹波の森」の発行等

【全施設】

イ 運営委員会の開催

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

平成 26 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第 24 期 テーマ「農林業・最近の動向」 受講生：50 人 実施日：6 月 24 日(火) ～12 月 9 日(火) 全 10 回のさまざまな講義を実施 ○専科生への活動支援 ・専科生によるピザ窯の使い方講習会 実施日 9 月 2 日(火) ・専科生が製作した石窯を使ったピザ作りワークショップを実施 実施日 10 月 26 日(日) 参加者 26 人	1,440,000	1,409,842	
	イ ウィーンの森親善訪問事業	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○丹波地方の景観写真文化交流事業 9 月上旬、丹波地方の景観写真(篠山市景観写真コンクール優秀作品等 35 点)をウィーン 13 区に送付。10 月よりウィーン 13 区役所で展示される予定だったが、先方の事情で延期された。展示日程はまだ決まっていない。 また、平成 27 年 5 月～6 月にはウィーン市民大学で展示会が開催される予定。 ○オオムラサキ飼育支援事業 4 月～6 月、ウィーン・シェーンブルン動物園のエノキ生育状況などの情報交換実施。平成 27 年の秋から冬にかけてオオムラサキの幼虫をシェーンブルン動物園へ送る予定である。 ○交流花壇設置支援事業 6 月に花壇完成。 6 月 24 日(火) シェーベル花壇完成式典 フロックス・フランツ・シューベルトなどの花が咲き乱れる中、式典を実施。 河合名誉公苑長、シューベルティアデーたんば音楽監督の畑氏はじめ、昨年度のウィーン訪問団参加者など 50 名が出席し、花壇の完成を祝った。	203,000	193,176	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業	人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり(丹波の森構想)を進めるために、住民・事業者・行政が一体となった丹波の美しさを守り活かす活動を支援する。	○篠山市「後川地区」で大寒峠に古来より行われてきた「寒茶づくり」を多世代・次世代につなぐため、ワークショップやサロンの開催などを通じて取組を支援。寒茶を楽しむサロンでは 59 名の参加があった。 ○丹波市「遠阪地区」における魅力資源の記録と発掘事業へのアドバイス。 地域の子どもの「あそびとくらし」の移り変わりを聞き書きする取り組みを通じて、生活と文化の歴史を次世代に伝える事業。平成 27 年度のとりまとめを目指す。	202,000	200,000	
エ 人材活用推進事業(丹波の森市民研究員制度)	地域の現状を把握し、より地域の課題に対応した実践的な活動を支援するため、地域の優れた人材や実践組織を「市民研究員」として登録し、地域への派遣を通じてそれぞれの人材の有する知識や技術等の経験を地域に還元する。	○市民研究員の派遣 派遣 3 件 ○「語り・シラブ」による「丹波のむかしばなし」の紙芝居上演と、ピザ窯を使った子育て事業に市民研究員を派遣した。 ・10 月 26 日(日)丹波の森フェスティバル(丹波の森公苑に市民研究員を派遣) 参加者 300 人 ・3 月 13 日(金)にんじんさんの森の中のピザパーティーの指導に市民研究員を派遣 参加者 28 人	16,000	15,000		

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	オ 丹波の森研究所の充実	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	<p>○研究交流会を通じた情報交換、方向検討、テーマ発掘など 丹波の森研究所研究交流会 開催日：(第1回) 5月27日(火) (第2回) 8月26日(火) (第3回) 11月11日(火) (第4回) 1月27日(火)</p> <p>○恐竜化石等を活かしたまちづくりの支援 ○研究所活動の広報・PR(情報誌「丹波の森」)</p>	10,817,600	10,103,628	
	カ 地域づくり支援事業 ・ 地域づくり支援事業	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	<p>○丹波のまちづくりについて4種類の調査研究 (ア)地球育ミュージアム-コネクト三丹(三丹地区の環境学習拠点の連携、研究会の発足) (イ)Facebook「まちづくり相談室」(SNS活用/まちづくり情報交換オープン・ホーム) (ロ)指定管理におけるコーディネーターの役割(並木道中央公園をケーススタディとして) (ハ)丹波豪雨災害調査プロジェクト(災害からの復旧・復興/人博・民間コンサルと連携)</p> <p>○アドバイザー派遣等重点地区の支援 丹波市：神楽地区(4回) 遠阪地区(3回) 篠山市：東岡屋地区(1回)、丹波篠山ひなまつり実行委員会(3回)、市野々地区(3回)、篠山城下まちづくり協議会ほか(3回)</p> <p>○まちづくりに関する四者(県民局・篠山市・丹波市及び森協会)連絡調整会議開催 ○企業と住民の協働による企業の森・里づくり事業 森づくり協議会(篠山市3地区、丹波市3地区)のコーディネート及び森づくり活動支援 4月：油井地区(三菱電機) 5月：神楽地区(三菱重工) 遠阪地区(アサヒビール) 油井地区(三菱電機) 10月：宮代地区(阪急交通社)、神楽地区(三菱重工) 11月：油井地区(三菱電機) 12月：曾地中地区(エコラ倶楽部) 油井地区(三菱電機) 1・2・3月：油井地区(三菱電機)が森づくり活動を実施</p> <p>○丹波地域まちづくり交流会の企画・開催 ・日程：12月3日(水) ・内容：活動発表及び講演会 ○丹波・篠山まちづくり活動報告書 44校区まちづくり情報の収集、アンケートの実施、活動報告書の作成</p>	6,169,000	5,144,706	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○丹波篠山ひなまつり事業のコーディネート業務 期間: 3月21日(土)～29日(日) 篠山市内7地区で「丹波篠山ひなまつり」を開催。</p> <p>○メイン事業: 稲畑人形展示会 期間: 3月21日(土)～29日(日)</p> <p>○稲畑人形特別講演会 3月22日(日)</p> <p>○「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が8回開催される中で、丹波の森研究員がコーディネートを務めるとともに、企画提案、事業アドバイスをを行った。また、近隣地域のひなまつりの視察提案により、次のひなまつり見学を実施した。</p> <p>○近隣市のひなまつり視察 視察先: たつの市室津「八朔ひなまつり」 実施日: 8月30日(土) 参加者数: 23人</p> <p>○丹波立杭ふるさとの森づくり計画策定(丹波農林振興事務所受託事業) 立杭地区の里山の保全と活用のための住民参加型のふるさとの森づくり計画を立案</p> <p>○川代溪谷周辺の桜てんぐす病対策ワークショップ(公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会受託事業) 県道篠山山南線沿道の桜てんぐす病被害状況を把握し、対策及び今後の維持管理について、地域とともにワークショップにおいて検討</p>			
			<p>○丹波・篠山恐竜フィールドミュージアム構想の立案</p> <p>○検討委員会及びワーキング部会を設置して検討</p> <p>・検討委員会 (第1回) 6月25日(水) (第2回) 12月2日(火) (第3回) 2月24日(火)</p> <p>・ワーキング部会 (第1回) 6月25日(水) (第2回) 7月28日(月) (第3回) 10月2日(木) (第4回) 2月3日(火)</p>	2,950,000 (丹波県民局受託事業)	2,582,601	
	・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、その価値や意義、丹波の魅力を広く全国に発信するとともに、当協会が主導してまちづくり協議会(構成団体: 県・両市、両市の商工会・観光協会等 69 団体)を組織し、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	<p>○たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業推進員設置</p> <p>○たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会の運営</p> <p>・総会 6月10日(火) 平成25年度事業報告及び決算報告と平成26年度事業計画及び予算を承認</p> <p>・理事会 6月10日(火) 平成25年度事業報告及び決算報告と平成26年度事業計画及び予算、総会の議事について承認</p> <p>・企画運営委員会・幹事会 5月16日(金)</p> <p>○ホームページ「恐竜 info」運営</p> <p>○丹波竜フィギュア「タンバティタニス・アミキティアエ」のPR、情報発信</p>	3,500,000 (丹波市受託事業)	3,500,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	たんば田舎暮らしワンストップ相談	丹波地域への定住促進と地域活性化を図るため、都市住民を対象に、移住や週末滞在、田舎暮らし体験、就農など田舎暮らしに関する相談・情報を提供する「たんば田舎暮らしワンストップ相談」を行う。また、丹波の豊かな自然環境や地域ぐるみのまちづくり活動など丹波の魅力を紹介、案内する「たんばの田舎暮らし呼び込み大作戦」を実施する。	○田舎暮らし相談窓口の設置と相談 電話相談を実施 火曜～日曜(年末年始を除く) 9時～17時 窓口相談(予約制): 都会から移住したいという多くの相談を受けた。特に古民家の需要は多くそれに対し、供給側の体制を整備する必要がある。 相談件数 241件	2,673,000	2,673,000	
			○たんばの田舎暮らしPR事業 ①たんば田舎暮らしセミナー(わか町PR)の実施 ・実施日: 11月29日(土) ・参加者数: 20名 ・内容: 丹波移住者による体験発表及び個別相談の実施 ②田舎暮らしフェア(ふるさと回帰フェア)への出展 (ア) 東京会場: 9月21日(日) 出展 ・来場者数: 10,721人 ・相談者数: 26人 (イ) 大阪会場: 10月25日(土) 出展 ・来場者数: 3,024人 ・相談者数: 15人 ・内容: 丹波へのJ・Uターン希望者を対象にブースを設け、両市相談員による相談会を実施 ③イベント等の情報発信 ひょうご多自然居住支援協議会等に対して、丹波地域に関する情報を提供	350,000	350,000	
	丹波氷上回廊ホームページの運営	丹波地域の気候風土や歴史文化に大きな影響を与えた「氷上回廊」を広く紹介するとともに、生物多様性保全や地球温暖化防止などの環境意識の啓発を目的として、ホームページ「氷上回廊」のコンテンツの充実を図る。	○丹波氷上回廊ホームページの更新、修正業務 ・既存コンテンツにおける追加情報作成、画像データ・写真の更新、それに伴うプログラミング作業 ・現状の部分のテキストの書き換え等の修正 ・ブログの管理と情報発信	464,400	464,400	
	丹波地方の草木と生き物ガイドブックの作成	丹波地域に生息する生き物や草花を知ることで、自然環境を学び、豊かな丹波の森の自然環境を守る。	○「丹波の森・名木ガイド」一部改訂事業 第1回編集委員会: 1月16日(金) 本年度は、平成27年度の改定冊子発行に向け名木の現状調査を行う。	36,000	35,400	
キ	花づくり活動支援事業	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	(長期講座) 内 容: 草花等の育成に関する知識習得、寄せ植えを中心とした実習 受講者数: 40人 講 師: 県立フラワーセンター職員 実施日: 4～3月(毎月1回開催) (短期講座) 内 容: 園芸に関する基礎知識修得 受講者数: 28人 講 師: 但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 実施日: 5・6・7・10・12月(年5回)	1,112,500	1,112,500	
ク	丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	・テーマ: もりびとになって たんばらしきを楽しもう ・開催日: 10月26日(日) ・実施内容: 元氣回復支援ステージ、ピザづくり、ツリーイング体験、里山ハイキング、フリーマーケットほか ・参加者数: 6,000人	850,000	850,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ケ 丹波年輪の里事業	木とのふれあいの中で、木工クラブを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	○工作室における木工クラブの指導(通年) 子どもたちには木に触れ、木でものを創る楽しさを、大人には木工クラブ基礎や楽しさを指導 団体 297団体 3,554人 個人 3,056人 ○ゴールデンウィークフェスタ 期間 4月29日(水) ～5月6日(水) ・親子工作教室 ・木づくり手づくり市 ・座っ展2014 ー丹波でうまれた木の椅子展ー ・アトリエ作品展 ・フリーマーケット ・竹とんぼ教室 ・ツリーイング教室 などを開催 ○平日グランドゴルフ 営業日 132日 参加者数 1,285人 ○木を暮らしに取り入れるための普及(通年) ・webサイトからの木材に関する情報提供 ・木材研修会、木質セミナーなど開催 ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。	2,134,000	1,991,739	
	コ 丹波並木道中央公園の企画運営	市民・地域参加による公園の管理や利用促進のため、参加型プログラムの企画運営など、主にソフト面からの管理運営を進める。	○丹波の森研究員等4人 配置 ○参加型プログラムの運営(企業参加の植樹・森林整備、赤米・黒豆の栽培、木工教室、恐竜の発掘体験など) ○広報・PR活動、森の円卓会議の運営	7,200,000	7,200,000	
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	[森づくり講座の開設] 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点として研修の提供 ・日程:6～12月(8回開催) ・受講者数: 延べ32人 [環境学習体験フィールドの整備] 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら生き物飼育場などを整備	336,000	336,000	
	イ 里山倶楽部活動支援事業	自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山とのふれあいの場の整備を推進する。	自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援。活動に必要な資機材等。 ・里山倶楽部会員数:27人	50,000	47,720	
	ウ 森づくりアドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。	[森づくり出前講座] 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援 ・派遣回数 林47件関係:28回 里山林関係:1回 【(3)ア 丹波の森公苑環境学習推進事業と並行して実施】	0	0	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくためオオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	<p>生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを継続して飼育展示。また、小学校区を中心とした地域での飼育を推進するため、関係機関等との連携強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導 (1 幼稚園、18 小学校、1 高校、6 事業所) ・放蝶会：7月12日(土)実施 参加者数：120人 放蝶数：65匹 ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携 	228,000	228,000	
	オ ささやまの森公園事業	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・レクリエーション・自然学習・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験班：草木染め、黒豆栽培、四季の和菓子作り等 プログラム回数：37回 参加者：417人 ・レクリエーション班：深山登山、源流探検、稲作体験等 プログラム回数：13回 参加者：176人 ・自然学習班：バードウォッチング、自然観察等 プログラム回数：14回 参加者：135人 ・里山復元班：丸太のテーブル作り、癒しの灯り作り等 プログラム回数：17回 参加者：190人 <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：木工クラフト、散策等 28団体、1,103人参加 ・森の学校(第7期生) 自然観察、源流探検、飯ごう炊飯等 参加者：小学3年～6年生 19人(10回/年) ・丹南校「里山文化」(第8回) 間伐体験、丸太のベンチ作り、草木染め等 参加者：生徒15人、一般3人 (10回/年) 	11,311,809	11,201,958	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公園環境学習推進事業	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>[子ども対象プログラム]</p> <p>○丹波縄文の森塾の開催 期間：5月～3月(13日/年、キャンプ2泊3日を含む) 塾生：小学4年～6年生 31人(篠山市及び丹波市) 内容：里山探検、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察など</p> <p>[親子・家族対象プログラム]</p> <p>○春の里山ふれあいソイキング 開催日：4月27日(日) 参加者数：24人</p> <p>[リーダー養成プログラム]</p> <p>縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培っている。</p> <p>[学習環境学習支援プログラム]</p> <p>○里山の秋の実り体験 期間：9月24日(水)～10月24日(金) 参加者：篠山市及び丹波市内の保育所、幼稚園、認定こども園及び小学校 992人</p> <p>○出前講座の実施 ○公苑における学習支援</p>	1,100,000	1,080,427	
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	187,928,701	186,536,220	

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を、広く住民に紹介することにより、コミュニティ再生の気運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図る。	○情報紙「丹波の森」による情報発信 年2回発行 ○管内の県民交流広場の活動等を冊子(イベント情報)にまとめ、関係機関・団体等に配布するとともにホームページで発信(年4回)	40,000	40,000	
	イ スポーツ大会・文化教室の開催	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会、竹とんぼ大会を開催する。また、工作室などを利用する木工特別教室、マイ箸づくり、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 木彫り教室、刀研ぎ塾、木工特別工作教室、木工基礎中級講座、木工クラブなど ・参加費:500円~800円(材料費別) ・延べ152回 1,485人 ○コバ柏原少年サッカー大会の開催 ・参加費:1チーム 500円 ・日時:7月26日(土)~27日(日) ・参加チーム数:県内外より18チーム ・参加者数:400人 ○つくって飛ばそう竹とんぼ大会 ・日時:8月24日(日) (午後雨天のため中止) ・参加費:1,000円(子ども無料) ・参加者数:22人 ○グラウンドゴルフ大会(年4回) ・参加費:500円 【第1回】 ・日時:6月11日(水)・参加者数:122人 【第2回】 ・日時:9月10日(水)・参加者数:171人 【第3回】 ・日時:12月3日(水)・参加者数:189人 【第4回】 ・日時:3月17日(火)・参加者数 185人 ○親子で絵本を楽しもう ・参加費:無料 ・日時:8月3日(日) ・参加者数:8人 ○サークル教室 ・1回使用 1,500円 ・延べ76回 607人	3,241,000	3,104,099	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供 【(3)ア 生活創造活動支援事業と並行して実施】	0	0	
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限:4年 ・募集定員:各学年60名 ・受講者数:228人(1年58人、2年58人、3年63人、4年49人) ・講座内容:教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期:4月~3月までの19回 ・受講料:12,500円	2,558,000	2,558,000	
	ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学院)の開設		【丹波OB大学院】 ・学習年限:2年 ・募集定員:各学年30人 ・受講者数:32人(1年6人、2年26人) ・講座内容:基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期:4月~3月までの20回 ・受講料:12,500円			

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるため、学習の機会を提供する。	・テーマ：「戦国の世と丹波Ⅱ」 ～光秀と丹波～ ・日程：8月30日(土)～12月13日(土) 全5回 ・場所：丹波の森公苑 多目的ルーム ・募集定員：150人 ・受講者数：204人 ・講師：大村拓生(関西大学非常勤講師) ほか ・受講料：5,000円	1,010,000	1,010,000	
	オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業	生活の創造や豊かな地域社会づくりを実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	・助成内容：住民の企画する学習会・研修会などに派遣する講師への謝金を助成 ・助成講座数：7件	210,000	210,000	
	カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日程：9月26日(金) ・場所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等 ・参加者数：600人(丹波地域内の高齢者大学受講生など) ・内容：式典、記念講演(旭堂南海氏)、高齢者の主張発表、芸能発表、作品展	340,000	340,000	
(3) 暮らしの安全安心の推進	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。)	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、消費者被害防止のための普及啓発として職員による出前講座等を実施する。	・生活創造・消費生活相談窓口の開設(休苑日を除く、土日は事前予約制) 相談件数 493件 ・出前講座の実施 23講座、945人 ・消費生活にゅーすの発行	210,000	210,000	
(4) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入	中・高校生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生ふさわしい体験プログラムの開発を行う。 【トライやる・ウィーク(中学生)】 実施時期：6月3日(水)～7日(日) 丹波の森公苑 3人、丹波年輪の里 5人 ささやまの森公園 4人	10,000	10,000	
	イ 丹波の森美術学校の開設	「丹波の森構想」のめざす芸術文化の香り高い地域づくりを推進し、子どもたちの創造意欲を高めるとともに、豊かな感性を育てるため、新進芸術家や大学教授等を講師に美術教室を開催する。	【宝塚大学連携講座】 ・日程：8月2日(土)、3日(日)の各日 ・対象者：小学5・6年生、中・高校生 ・募集定員：各日とも15人 ・参加者数：28人 ・講師：柳勇気(宝塚大学准教授) ほか ・参加費：1,000円	278,000	278,000	
	ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日程：7月24日(木)～10月18日(土)(全15回) ・場所：丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：30人 ・参加者数：40人 ・指導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 【発表公演(「劇団ウエスト」の俳優との共演)】 ・日時：10月19日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人500円、高校生以下300円 ・入場者数：415人	1,500,000	1,500,000	
	エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・日程：5月5日(月・祝日) ・場所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者：中学生 194人(男子48ペア・女子49ペア) ・参加費：1ペア 500円	66,500	66,500	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	オ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベークラブの活動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○丹波のむかしばなしを活用した交流会、研修会の実施 ・第1回役員会: 5月15日(木) ・第2回役員会: 9月30日(火) ・交流研修会 日時: 11月11日(火) 場所: 篠山小学校 ○紙芝居等の作成費及び修復助成 3件 43,716円	120,000	119,910	
(5) 公2 共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	77,786,403	75,844,517	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルトアイデアたんばの開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しみ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ファイナルコンサート(1公演) ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽広場」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(4校)の実施 等	・開催期間:9月13日(土)～11月9日(日) ・総参加者数:5,295人 ○20回記念事業・シューベルトの歌コンクール ・日程:11月7日(金)～9日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール、たんば田園交響ホール ・出場者数:49組、50人 ・参加費:10,000円 ・参加者数:377人 ○ホールコンサート ●オープニングサロンコンサート ・日程:9月13日(土) ・場所:お菓子の里丹波(篠山市) ・参加者数:235人 ・入場料:3,000円(当日3,500円) ●ファイナル・コンサート ・日程:11月9日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール ・入場料:大人2,500円(当日3,000円)、中・高生1,000円(当日1,500円) ・参加者数:436人 ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校4校) ○ふるさと音楽ひろば(小学校9校) ○協賛コンサート 2箇所 ○歌のつどい	1,500,000	1,500,000	
	イ 丹波の森演劇祭の開催	地元で活動する劇団等が一堂に会する演劇祭を開催し、丹波から特色ある演劇文化を発信するとともに、京都丹波の劇団の参加を得て、演劇を通じた大丹波文化交流を行う。	【丹波の森演劇祭(劇団公演)】 ・日程:10月4日(土)、26日(日) ・場所:丹波の森公苑ホール ・入場料:大人500円、高校生以下無料 ・入場者数:358人	677,000	677,000	
	ウ 丹波の森公苑ホール等自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	【落語会】 ・日程:2月21日(土)14時～ ・場所:丹波の森公苑ホール ・内容:桂ざこば一門落語会 ・入場料:3,000円(ペア券5,000円) ・入場者数:488人	1,293,000	1,293,000	
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	○アートクラフトフェスティバル in たんば2014 ・日程:10月4日(土)～5日(日) ・出展者:180人 ・来園者:13,500人	400,000	400,000	
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。	【一般の部】 ・出展 101人、114点 ・展示 9月21日(日)～10月5日(日) ・場所 年輪の里木の館ホール ・見学者 3,526人 【ジュニアの部(高校生以下)】 ・出展 19校、125点 ・展示 10月26日(日)～11月9日(日) ・見学者 762人	900,000	900,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日程：①1月30日(金)～2月1日(日) ②2月6日(金)～8日(日) ・場所：①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房、展示ギャラリー ②篠山市立中央図書館 ・来場者数：①823人 ②840人 ○文化賞受賞者小品展 ・日程：10月10日(金)～13日(月・祝) ・場所：丹波の森公苑 多目的ルーム ・来場者数：103人	120,000	120,000	
	エ ステージスタッフ活動支援事業	丹波の森公苑ホールを拠点としたステージスタッフへの研修等を実施し、ホール運営の技術を高める。	・丹波の森公苑ホール運営への参画 【ホール使用事業で対応】	0	0	
	オ 展示ギャラリーの開設	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	・利用件数：26回(ちぎり絵展、絵画展、写真展など)	10,000	10,000	
	カ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日程：4月20日(日)12時30分～ ・場所：丹波の森公苑ホール ・内容：第6回丹波の森童謡唱歌の祭典の中で、稲畑式三番叟保存会が出演 ・参加者数：700人	200,000	200,000	
	キ 座つ展2014-丹波でうまれた木の椅子-	木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを感じていただき、「年輪の里」「木工の里丹波」名称の広報周知を図るため、丹波地域で創作活動をする木工家14名30脚の木の椅子の展示会を開催する。	・開催期間：4月29日(火)～5月6日(火) (年輪の里GWフェスタ) ・展示会場：年輪の里 木の館ホール ・出展者数：13名 ・木の椅子：31脚 ・見学者数：1,419人 ・アンケート実施：回答者724人	80,000	76,024	
	ク ひょうご社会教育活性化支援事業	丹波地域の民俗芸能を地域の宝、誇りとして見直し、次代に伝えていくため、地域振興策として、民俗芸能の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、鑑賞会の開催を通して指導者の養成を図る。また、和楽器の素晴らしさを伝えるミニ講座を開くなど、民俗芸能の活性化を促す。	○民族芸能体験事業 子どもたちのための和楽器鑑賞会の開催 ・日程：12月～1月 ・場所：管内10小学校 ・参加者数：373人 ○民族芸能活性化事業 伝統芸能発表会 ・日程：10月26日(日) ・場所：丹波の森公苑特設ステージ ・出演団体：春日戦国太鼓、棚原相撲甚句 子ども狂言 ・参加者数：100人	340,000	340,000	
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	25,303,597	25,303,597	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報誌「丹波の森」の発行等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを開設・運営し、タイムリーな情報を提供する。	○情報誌「丹波の森」(年2回発行) ・6月:41,000部発行 ・1月:41,000部発行 ○メールマガジン「たんばもりびとにゅーす」 ・月2回 167人に発信 ○年報(年1回発行) ・6月発行 H.P.等に掲示 ○協会ニュース2014 12月発行、関係団体に配布及びH.P.に掲示 ○ホームページによる情報発信 ・更新:毎月3回 ・アクセス件数:延べ335,214件	1,748,000	1,741,504	
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公園運営委員会 7月31日(木) 17名出席 ○丹波年輪の里運営協議会 3月10日(火) 13名出席 ○ささやまの森公園運営協議会 3月10日(火) 14名出席	330,490	308,258	

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公園及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公園 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公園 ・丹波年輪の里 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売。	4,663,000	4,047,164	

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援	丹波の森公園を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：31 団体 ○おさん茂兵衛 DE たんば実行委員会（解散総会） ・日程：11月13日（木） ・場所：丹波の森公園 多目的ルーム ○日本の童謡・唱歌を広める会 ●第6回丹波の森童謡唱歌の祭典 ・日程：4月20日（日） ・場所：丹波の森公園ホール ○丹波の森食文化講座実行委員会 ・期間：6月5日（木）～11月27日（木） 全6回 ・場所：丹波の森公園ほか ・受講者数：49人 ○丹波の森ふれあいステージ ・日程：6月8日（日） ・場所：丹波の森公園ホール	200,000	200,000	

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・ 評議員会および理事会開催 ・ 協会事務局の維持・運営	○評議員会 第5回定時評議員会：6月24日（火）開催 6名出席 全議案承認 ○理事会 第8回理事会：4月1日（火）開催 （書面同意）全議案承認 第9回理事会：6月5日（木）開催 理事6名・監事1名出席 全議案承認 第10回理事会：6月24日（火）開催 （書面同意）全議案承認 第11回理事会：11月14日（金）開催 （書面同意）全議案承認 第12回理事会：3月26日（木）開催 理事6名・監事2名出席 全議案承認 ○監事監査：5月21日（水）実施 中間監事監査：11月28日（金）実施	12,380,000	12,016,772	

平成26年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	311 ^日	104 ^日	33.4 [%]	28,743 ^人	3,850,480 ^円	3,735,670 ^円	103.1 [%]
練習室兼楽屋	311	198	63.7	4,657	497,500	428,300	116.2
楽屋A	311	71	22.8	866	104,380	83,000	125.8
楽屋B	311	61	19.6	339	37,150	30,250	122.8
創作工房	311	148	47.6	4,447	412,850	435,650	94.8
多目的ルーム	311	209	67.2	19,330	1,341,700	1,232,200	108.9
和室	311	139	44.7	854	114,180	111,500	102.4
会議室1	311	193	62.1	2,719	229,140	231,900	98.8
会議室2	311	159	51.1	1,307	157,250	201,900	77.9
会議室3	311	155	49.8	2,843	288,370	277,600	103.9
セミナー室	311	168	54.0	5,902	623,060	632,700	98.5
絵画アトリエ	363	363	100.0	1,815	522,400	516,800	101.1
彫刻アトリエ	363	122	33.6	610	168,100	519,200	32.4
テニスコート	302	212	70.2	7,550	2,366,950	2,196,500	107.8
グラウンド	302	194	64.2	11,770	499,100	457,000	109.2
計	4,751	2,496	52.5	93,752	11,212,610	11,090,170	101.1
前年度計	4,726	2,724	57.6	98,253			
前年度対比		91.6 [%]	91.1 [%]	95.4 [%]			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	307	0	0.0	28,220	0	0	0.0
工作室A	307	18	5.9	726	35,450	35,800	99.0
工作室B	307	41	13.4	2,828	90,100	96,100	93.8
アトリエA	307	85	27.7	2,171	126,000	126,000	100.0
研修室A	307	72	23.5	2,745	206,400	232,900	88.6
研修室B	307	42	13.7	1,300	61,000	61,200	99.7
会議室	307	105	34.2	1,209	71,400	103,800	68.8
工作共同	307	265	86.3	3,056	231,105	286,490	80.7
イベント広場	307	267	87.0	38,718	240,720	251,475	95.7
計	2,763	895	32.4	80,973	1,062,175	1,193,765	89.0
前年度計	3,070	891	32.6	101,106			
前年度対比		100.4	99.4	80.1			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	308			11,096			
プログラム				4,217			
団体利用				1,511			
その他				497			
運営協議会				14			
計				17,335			
前年度計	308			19,142			
前年度対比				90.6			

平成26年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入予定額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	99,950,000	99,950,000	1,410,000	県立丹波の森公苑に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	70,111,004	70,111,004	1,295,004	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械整備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務 等		
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	9,625,000	9,625,000	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	7,200,000	7,200,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る事業企画			
兵庫県立丹波年輪の里木製遊具補修工事業務	兵庫県	1,043,928	1,043,928	0	県立丹波年輪の里の木製遊具の補修工事を行う。			
兵庫県立丹波年輪の里木の館・クラフト館・レストラン棟等改修工事業務	兵庫県	81,991,548	81,991,548	57,991,548	県立丹波年輪の里の木製の館・クラフト館・レストラン棟等の改修工事を行う。			
兵庫県立ささやまの森公園里山保全創設事業	兵庫県	2,900,000	2,900,000	0	兵庫県立ささやまの森公園の災害復旧工事を行う。			
たんば田舎暮らし呼び込み大作戦事業	丹波県民局	350,000	350,000	350,000	丹波の豊かな自然環境や地域ぐるみのまちづくり活動など丹波の魅力を紹介、案内する事業として「たんば田舎暮らしセミナー」や「田舎暮らし体験施設」を活用したPRを行う。			
丹波篠山恐竜フィードバックコミュニティ構想事業	丹波県民局	2,950,344	2,950,344	1,500,344	丹波篠山恐竜フィードバックコミュニティ構想の検討委員会・ワーキンググループ会議等の開催、先進地等の調査を行い、報告書を作成し、構想の推進を図る。			
ひょうご社会教育活性化支援事業	兵庫県教育委員会	250,000	250,000	0	丹波地域の民族芸能を地域の宝、誇りとして昇直し、次代に伝えていくため、地域振興策として、民族芸能の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、鑑賞会の開催を通して、指導者の育成を図る。また、和楽器の素晴らしさを伝えるミニ講座を開くなど、民族芸能の活性化を促す。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入見積額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
篠山層群ネイチャーミュージアム推進事業	丹波市	3,500,000	3,500,000	0	・篠山層群ネイチャーミュージアム推進員の設置 ・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会の総会及び企画運営委員会の開催 ・ホームページによる情報発信を行う。			
丹(まごころ)の里田舎暮らしワンストップ相談事業	丹波市	2,673,000	2,673,000	0	丹波地域への定住促進と地域活性化を図るため、都市住民を対象に田舎暮らしに関する相談、情報を提供する。			
丹波氷上回廊ホームページ更新業務	丹波市	464,400	464,400	464,400	自然環境情報発信ホームページ「氷上回廊」。土地利用から地場産業、暮らし、歴史までの情報を加え、より充実したWebサイトへと更新を図る。	契約研究員 宮川五十雄	417,960	
学ぶ高齢者のつとめ丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県 生きた創造 協会	150,000	150,000	0	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や創作作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。			
川代溪谷の桜でんぐす病対策ワーキングセッション業務	(公財)兵庫県 園芸・公園協 会	523,800	523,800	523,800	県道篠山山南線沿道は桜の名所であるが、近年「でんぐす病」が広がり、樹勢の衰えが目立つようになってきた。そのため「でんぐす病」の被害状況を把握するとともに、今後の維持管理について、地域とともにワーキングセッションにおいて検討することとなった。主たる業務内容は、ワーキングセッションにおけるコーディネーターを務め、維持管理の方針を導くことである。	契約研究員 塩山沙弥香	100,000	
丹波立植ふるさとの森づくりプロジェクトの推進	丹波立植陶磁 器協同組合	999,000	999,000	999,000	ふるさとの森づくりプロジェクトは、地域住民や森林資源を活用する事業者などが主体となって実施する地域特性を活かした森づくりである。本業務は丹波立植陶磁器協同組合が丹波農林振興事務所との支援を受け、復元が進められている急ぎの活用に合わせて森づくりを検討している。主たる業務内容は、そのための森づくり計画の策定である。	契約研究員 門上幸子	850,000	

284,682,024 284,682,024 64,534,096

1,367,960